

# 中国地域産学官コラボレーションセンター 主要活動報告

平成29年 7月12日

中国地域産学官コラボレーション会議  
(中国地域産学官コラボレーションセンター)

# 平成29年度 活動計画

---

- (1) 中国地域産学官コラボレーションシンポジウムの開催
- (2) デジタル技術を駆使したビジネス革新の推進
- (3) 人材育成専門部会の活動推進
- (4) キャンパスベンチャーグランプリ中国の開催

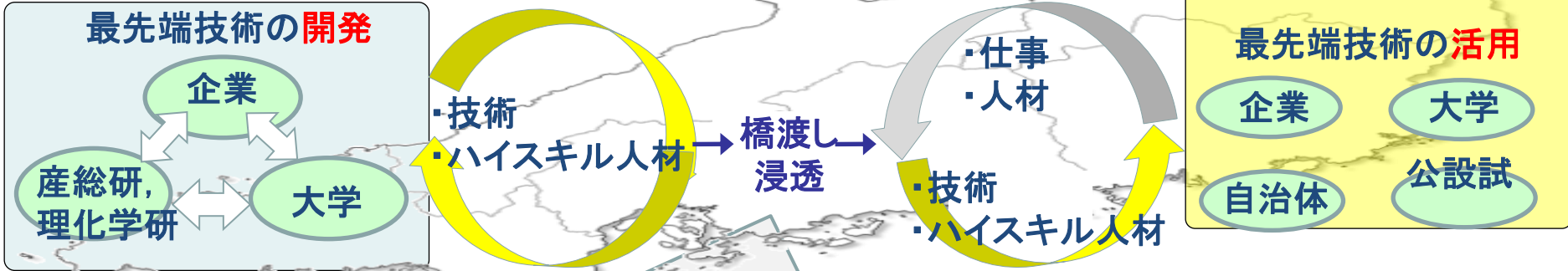
## 地域イノベーション創出 2017 in しまね

<b>目的</b>	中国地域におけるイノベーション創出の機運を一層高めるため、産学官連携活動の取組事例や連携の方向性を共有するシンポジウムを、各県持ち回りで毎年1回開催する。		
<b>開催日</b>	平成29年 7月12日(金)	<b>場所</b>	くにびきメッセ 国際会議場
<b>主な内容</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 開会挨拶：島根県、島根大学、中国経済連合会、</li><li>2. 基調講演<ul style="list-style-type: none"><li>・「リアルテックベンチャー」が地域から世界を変える   (株)ユーグレナ 取締役 財務・経営戦略担当(永田 暁彦 氏)</li></ul></li><li>3. 産学官連携・イノベーション創出の取組紹介<ul style="list-style-type: none"><li>・『大学発・産学連携ファンドによるイノベーション創出』   (株)山陰合同銀行 地域振興部 調査役 (宮本 立史氏)</li><li>・島根大学発ベンチャー①PuREC(株)   『超高純度ヒト間葉系幹細胞“REC”を用いた臨床・創薬の展望』   島根大学 医学部医学科教授 (松崎 有未氏)</li><li>・島根大学発ベンチャー②(株)なかうみ海藻のめぐみ   『中海から回収される海藻の有機質肥料としての利用価値』   島根大学 生物資源科学部 教授(松本 真悟氏)</li></ul></li><li>4. 交流会</li></ol>		

# (2) デジタル技術を駆使したビジネス革新の推進

■ 広島県では、スパコン使用環境を整え、ものづくりを中心に、最先端のデジタル技術を、中堅・中小企業へ橋渡し・浸透させる拠点(デジタルイノベーションセンター)を今秋に開設予定。  
 ⇒ 本拠点では企業同士の共創によるオープンイノベーション 及び 人材育成を目指す。

[デジタル技術保有群]



【デジタルイノベーションセンター】

設備環境を構築

- スパコン使用環境
- オープンスペース
- 教育設備

ハイスキル人材



共創の場

☆オープンイノベーション



課題見える化 + チームを編成

人材育成の場



実際の課題の解決, 基礎研修

現場の課題・人を持込み

仕事

(業種)

■まず, ものづくり中心



- まず、広島県のものづくりを中心とした取り組みについて中国地域全体に浸透させて、広島県の拠点の活用促進による「ものづくり産業の競争力向上」を図る。さらに、地域毎の特徴を活かした新たな拠点のアイデアについて、各県が連携して構想を描くこととする。

(ちゅうごく産業創造センターにおいて調査事業を実施中)

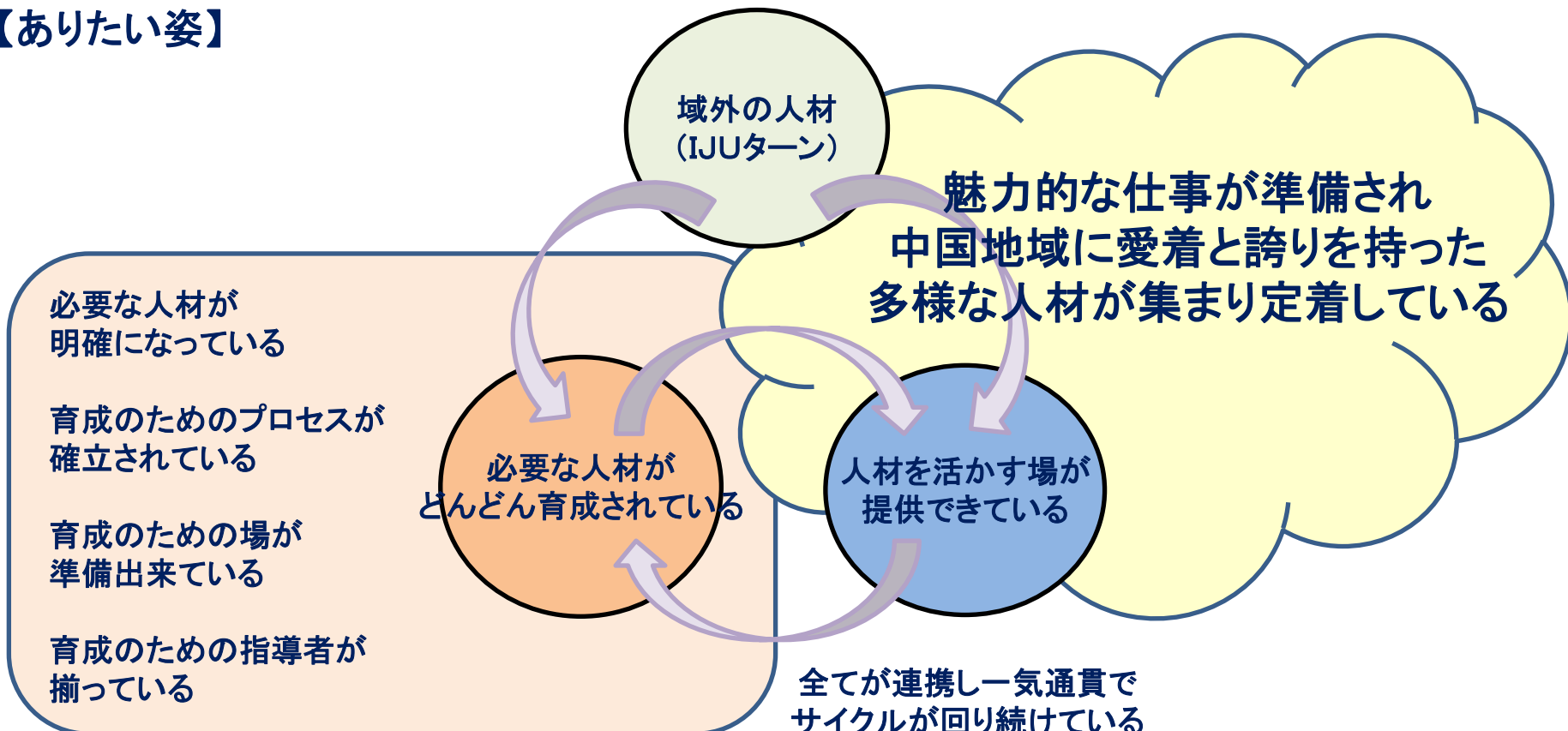


【活動目的】 学生、若手人材の地域定着の促進, イノベーションを起こす意欲とスキルの向上

【専門部会の構成】 部会長: 諏訪 (株)熊平製作所社長, 事務局: 中経連, 10大学等 他

全体会議 — 分科会1: インターンシップ等による学生の就業意識の醸成と地域定着の促進  
分科会2: 学生・若手人材のイノベティブな意識の醸成と起業家の支援

## 【ありたい姿】



## 地域の将来を担う学生・若者の育成支援

就業意識の向上 ⇒ 地域企業との接点・交流を増す

地域の資源を知り

地域の魅力を発掘し

地域に定着する

3年次～大学院  
長期インターンシップの推進  
【企業・地域の課題に取り組む】

2～3年次  
企業別インターンシップの推進  
【企業の理念・社会の一員であることを知る】

1～2年生  
業種・職種別インターンシップ 企業出張授業の推進  
【地域の産業・企業を知る】

## 地域の将来を担う学生・若者の育成支援

起業意識の向上 ⇒ 新しいものに挑戦する意欲の醸成

挑戦する意欲を持ち 起業リテラシーを向上し 魅力ある産業を興す

環境を整備

【起業・企業内ベンチャー】

アントレプレナー教育の充実

【社会・企業・自分自身に変革を促す能力の向上】

起業家との交流の場作り  
【挑戦する意欲の醸成】



#### 就業意識の向上 活動例 (インターンシップの活用)

低学年(1~2年次)を対象とした、**コース別インターンシップ**の構築と実施  
「企業」ではなく、「**業種・職種を学ぶ**」コース  
(例) : 「**生産・流通・販売を学ぶ**」コース  
(複数の企業が協力して商品の流れを体感する)



地域の産業・企業を知ると共に、進路をイメージし大学で学ぶ目的意識を向上

#### 起業意識の向上 活動例 (ビジネスプランコンテストの活用)

キャンパスベンチャーグランプリ中国受賞者の、**経営コンサルタントによるブラッシュアップ**  
キャンパスベンチャーグランプリ**全国大会への学生招待**  
「チャレンジする人が常駐する場」(広島県)における**学生プレゼン機会**設定




レベルの高い場・人に接することにより、挑戦する意欲を向上

## (4) キャンパスベンチャーグランプリ中国の開催

### ■目的

- 学生のビジネス・起業家精神を高揚し創造性・チャレンジ精神に富む人材を育成する。

### ■実施予定

7月	ビジネスアイデア創出・プラン作成セミナー(7/1実施済み) CVG募集開始(10月末募集〆切)	 テクノロジー部門, ビジネス部門 の最優秀賞は全国大会へ出場 (3月頃)
11月	書類審査・プランの絞り込み	
12月	最終審査会	
1月	表彰式	

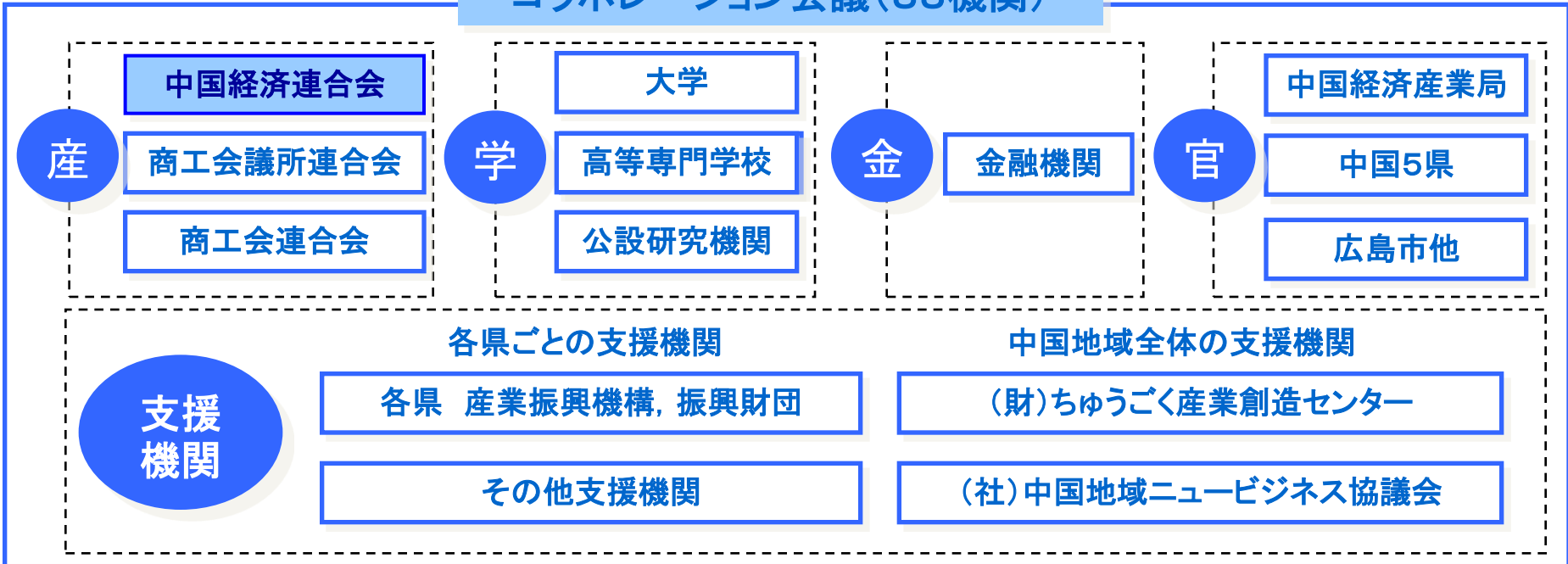
### ■運営体制

- <主催> キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中国実行委員会  
【実行委員長】苅田 智英(中国経済連合会 会長)
- <共催> 中国経済連合会, 中国地域産学官コラボレーション会議  
中国四国産業人クラブ, 日刊工業新聞社, マツダ株式会社



# 中国地域産学官コラボレーション会議

## コラボレーション会議(88機関)



## コラボレーションセンター(コラボレーション会議事務局)

中国経済連合会

広島大学

中国経済産業局

独立行政法人産業技術総合研究所